

2026年7月1日

外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

## 「広域抗菌薬投与患者に対するアクティブ デエスカレーションの推進の効果に関する研究」への協力をお願い

薬剤部では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

**研究の対象：**次の期間にタゾバクタム/ピペラシリンまたはカルバペネム系抗菌薬による治療を当院で受けられた方

2021年10月1日から2021年11月30日、2022年10月1日から2022年11月30日

**研究期間：**研究機関の長の研究実施許可日～ 2028年12月31日

**研究目的・利用方法：**本研究の目的は、アクティブ デエスカレーション (active de-escalation) の効果を検証することにあります。active de-escalation の効果が検証できれば、広域抗菌薬の使用量をさらに減少させる方策を提唱可能となります。

**研究に用いる情報の項目：**以下の項目について診療録より取得を行います。

**患者情報：**年齢、性別、身長、体重、診療科、常用薬、併存症、入院日数、ACCC・ICU入室日数、敗血症性ショック、重症度 (SOFA)、死亡日、体温、Charlson comorbidity index

**感染症：**感染部位、起因菌、培養検体採取部位、培養検出細菌、起因菌判明日、検出細菌の感受性判明日

**抗菌薬：**使用抗菌薬名、各抗菌薬投与開始日・終了日、有害事象発現日、終了理由

**血液検査：**ALB、AST、ALT、T-Bil、WBC、Neut、HGB、PLT、Cre、eGFR、BUN、CRP

**有害事象：**発症日、アレルギー症状、皮膚障害、好中球減少、白血球減少、ヘモグロビン減少、血小板減少、下痢、便秘、AST 上昇、ALT 上昇、T-bil 上昇、クレアチニン上昇

**研究に用いる情報の利用を開始する予定日：**2026年7月3日

### 研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

## 研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

## 研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

氏名：鈴木 昭夫

## 連絡先

岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

電話番号：058-230-7088

氏名：原 亘輝

## 【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp